

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-011

PDCA	事務事業名	健康教育事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当 内線等	数内 84-0646
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (3) 高齢者の日常生活の支援 個別施策： ②介護予防の推進				
	根拠法令等	—				
	対象・目的	65歳以上の高齢者を対象に、要支援・要介護状態にならないように自らが積極的に取り組むことができることを目的に、認知症やうつ予防、運動機能・口腔機能の向上など介護予防に関する知識の普及啓発を図る。				
	目的を達成するための手段・活動内容	・各専門職（保健師、歯科衛生士、栄養士）による健康出前講座や健康相談の実施 ・委託事業：半田市健康づくり連絡協議会健康づくりリーダーによる介護予防体操や半田市食生活改善推進員連絡協議会会員による健康料理教室等の開催				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
		①介護予防講座開催回数	123	126	97	回
		②総合健康相談事業実施回数	52	60	67	回
		③教育・相談実施人数	4,674	4,511	3,937	人
		事業費	499	563	269	千円
		人件費	10,278	8,744	8,384	千円
		総事業費	10,777	9,307	8,653	千円
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①教育・相談の一人あたりのコスト	2,305	2,063	2,197	円	
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
①シニア向け健康出前講座参加延べ人数 (29・30年度までの指標：介護予防講座の参加延べ人数)		実績値	3,359	3,395	2,670	人
		目標値	4,750	4,750	3,000	
②		実績値				
		目標値				
③		実績値				
	目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ある		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない			
事業の評価・課題	C 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせた講座もあったことから、シニア向け健康出前講座参加延べ人数は、目標値に届かなかった。しかし、規模が大きくない団体へも出前講座として、保健師・歯科衛生士・栄養士が地域に出向いており、実施回数は前年を上回った。また、地域の健康課題やニーズに合わせた内容で健康教育・健康相談を実施することもできている。一方、疾病予防や重症化予防のためには、市民自らが健康づくりに取り組み、年齢にとられない健康づくりを推進することが必要である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	統廃合等 年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを総合的に推進していくため、本事業と地域自殺対策強化事業を令和2年度から、健康づくり推進事業に統合する。若い世代から高齢期まで望ましい生活習慣を維持・継続できるよう、健康課題やニーズに合った事業を展開していく。				
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位